

すぷりんぐ

会報 通算第8号 2016年9月発行

代表からの会報ごあいさつ

代表 牧野准子



短い北海道の暑い夏も終わりました。みなさんはいかがお過ごしですか。今年から事業部が出来て、部会ではいろいろな事業計画を立てて下さいました。中々思うように皆様のご期待に添えないかもしれませんが、「すぷりんぐ愛」を持って下さる皆さんのアイデアで進めています。愛がなければ出来ない事。感謝の気持ちで、私は可能な限り参加させて頂いています。今年初めての川下公園でのバーベキューも、とても楽しく参加しました。「誘われたら取りあえず行ってみる」をモットーに色々な出会いや楽しみを探して顔を出している私です。皆さんも、案内が行ったら取りあえず参加してみるのはいかがですか。新しい発見や出会いがあるかもしれません。

会報も今まで高橋めぐみさんが担当でしたが、さらに佐々木美紅さんが加わり、最強メンバーでの編集。ネタがあつての会報ですので、皆さんからの情報提供をよろしくお願いいたします。ホームページも大谷さんのテクニックとセンスで充実してきました。今年で設立4年、すぷりんぐを好きになってくださいね。好きだからこそ味わえる楽しみがありますから。

以上

◆スピーチマラソンがありました！20名の講師が講演◆

◇牧野代表よりご報告いただきました！

平成28年6月25日(土)に念願の第1回障がい当事者によるスピーチマラソンが開催されました。平成22年度から札幌市社会福祉協議会で始まった障がい当事者講師養成講座の受講生も講師登録者が83名になりました。(第7期生がさらに増える予定です)しかしながら、まだまだ講師活動の場所が少なく、私たちの声や思いを伝える機会が限られている現状です。呼んでいただくのを待っているのではなく、私たちから知って頂く努力をしようとスピーチマラソンを考えました。それを社会福祉協議会さんに相談したところ心よく支援して下さり、協働開催の運び

となりました。

開催に当たり、講師として協力を申し出て下さったみなさん、関わって応援して下さいましたみなさん、ボランティアとして参加して下さいましたみなさんに心から感謝を申し上げます。一人 12 分程度の持ち時間で、20 名の講師がそれぞれの思いを伝え、心に響く当事者の思いが溢れていました。障がいを持っていても決してマイナスではなくプラスエネルギーに変えられるという事も感じました。

今後もつなげていきたいと考え第 1 回目としました。はじめての試みで、試行錯誤の連続で、ご迷惑もお掛けしたり、反省点もいっぱいありますが、結果は成功だったと確信しております。継続は力なり。今年、ちょっと様子を見てからにしようと思っていた方、都合が合わずに参加断念した方は、来年こそ是非壇上に上がり、熱い思いを語ってください。

スピーチマラソンの講演記録は、映像記録ボランティアの鈴木隆司氏が音声を書き起こしてくれています。完成しましたら、皆さんのお目に触れる機会があると思いますのでどうぞお楽しみに。

◇小林さんより、ご感想をいただきました！

6月25日の第一回のスピーチマラソンが始まる半月前は私の心は不安でいっぱいでした。でも、いざ始めるとその不安もどこかに吹っ飛んで、皆さんの講演を聞くうちに短い時間に講演者たちの経験をよくまとめて、苦しいことや楽しいことなどを嫌がらずに話していく講演者たちの勇気と努力に感動しました。子供の頃から障がい者の人たちの話を聞いて、並々ならない苦労と努力があるのがよくわかりました。精神障がい者の今まで私の知らない世界と生きていくための苦労もよくわかったスピーチマラソンでした。

私は、この講演者たちの話を聞いて、まだまだ私の知らない世界がたくさんあるのがわかりました。また観客がたくさん来てくれて最後まで話を聞いてくれたのが、とても嬉しく感じました。それと社会福祉協議会のスタッフの並々ならない協力と、ボランティアで手伝って下さったみなさんの努力のおかげで大成功に終わることが出来て、とても嬉しく思っております。ありがとうございました。これからもこのスピーチマラソンが一回で終わらないで長年続くことを望んでいます。

大成功に乾杯。そしてみなさんご苦労さんでした。



左の写真は、最後はみんなで記念撮影をした時の写真です。皆さんピカピカの笑顔で、はいチーズ。



右の写真は、牧野代表がスピーチをしている時の一コマです。

◇スピーチマラソンの電子書籍ができました！

当日、映像記録を担当して下さった鈴木さんご協力のもと完成した電子書籍です。ぜひご覧いただき、来年、多くの方にご参加いただきたいと思います。

「電子書籍アドレス」http://r.binb.jp/epm/e1_31574_28082016153326/

◆イチゴ狩り南区の八剣山果樹園に 26 名参加◆

◇河口事業部長よりご報告いただきました！

6月26日に南区の八剣山果樹園に総勢26名で行きました。

あいにくの雨でしたが みんないちご狩りを楽しみました。

天候不順のため、生育が遅れていましたが、赤いいちごを選んで食べました。早めにきりあげて、ジンギスカンを食べました。帰りは大雨でしたが無事、けがもなく戻りました。



◇三井副代表より、ご感想いただきました！

6月26日は参加申し込みも20名を越えたのに残念ながら、朝から雨模様でした。

バスの中では牧野代表のサプライズプレゼントで、参加者にお菓子が当たる抽選会！

なんと、自分を動物に例えると?を発表しないとお菓子がもらえないので、みんな和気あいあいで大騒ぎのバスでした。

現地について、大急ぎで、甘くて大粒の赤いいちごを積んで雨の中でみんなできるだけ頬張りました。雨が強くなったので、ジンギスカン会場へダッシュ！体を温めるための?ビールを飲んだりジンギスカンを食べたり、交流しながらのランチタイムはとても楽しい時間でした。

来年は晴れたらいいですねー♪



左の写真は、いちご狩りをしている時の光景です。赤くて甘いいちごに満足！

右の写真は、みんなで北海道の名物料理ジンギスカンを堪能しています。今日のお肉は特別に美味しい！

◆川下公園バーベキューをやりましたー！◆

◇塚田さんより、ご感想いただきました！

先日、七月下旬に行われた川下公園でのバーベキューに参加しました。

青空の下での、バーベキューなどは親族と何年か前に行ったきりで、ずいぶん久々です。幸いにも天候に恵まれ、そこそこに暑いくらいの中、楽しげに、集合、出発致しました。

出発は2台に分かれ、近場という事もあり、お喋りをしている間にあっという間に会場についてしまいました。自分たちのバスがやや遅れて着いてしまったため、最初入り口が分からず、皆でウロウロというのも有りましたが、ほどなく無事に合流致しました。

会場は、さらに天気がカンカン照りの絶好調で、その中でも直射日光が、ややきつめの所に陣取り、そのまま、そこでジェット機やらジェットヘリやらの騒音を聞いている内に乾杯の音頭が取られ、ビールや焼き肉やらがやって来ました。自分でちょろちょろと動きまわるわけにもいかず、申し訳ないなあと思いながらそれらを美味しくいただきました。そのまま、一步もそこから動かず、坂江さんと多分、世界で一番何の役にも立ちそうにない話をグダグダしているうちにお開きと相成ったのです。その後は行き同様バスに乗り込み、集合場所に戻り解散とさしたるトラブルも見受けられませんでした。

その後、地下鉄で帰る途中に雨に打たれたように酔いが回り、ほうほうで家の自分の部屋にたどり着き、ベッドの上でおはっぴちゃん【11歳】、雌、黒猫が部屋に入れろと扉をがりがり引っ掻いているのをほろ酔い加減で聞きながら、まあ悪くなかったなと思いつつ、一日が終わった次第です、感想終わり。

◇松田さんより、ご感想いただきました！

7月23日（土）に川下公園でやきにくパーティーの行事があり、9：30迄に社会福祉総合センターに集合をして、福祉バスと福祉タクシーが到着したので、福祉バスには17名の人がのって、後の5名の人は福祉タクシーにのって川下公園に行き、10：30ごろに到着してから今度は、みんなで焼き肉の準備をして、出来上がってから今度は、みんなで手分けをして、ウイナーや、やさいや、おにくや、とうきびや、いもをやいて、やけた順番に、みんなで食べながらグループになって話をしながら、交流しているうちに帰る時間となり、当たりくじを引いた人にビール6缶があたってから今度は、みんなで片付けをして終わってから今度は、みんなでマシュマロをくしに刺して焼いて食べて終わってから今度はまた福祉バスと福祉タクシーにわかれて乗ってから、また、社会福祉総合センター近くまで乗って、到着したので、福祉バスから下車してから今度は、解散をして14：00すぎに帰りました。また色々な行事に参加したいです。これからも又よろしくお願いします。



左の写真は、みんなで焼き立ての肉や野菜を食べている光景です。やっぱり青空の下で食べる焼肉は最高ですね！（怪しい人は誰でしょう）



こちらの写真は、自然豊かな川下公園をバックに、はいポーズ！



◆音楽研修ドラムサークル開催！◆

◇船山さんより報告&感想をいただきました！

参加ありがとうございます。昨年好評だったので「今年もやります」と、意気込んでみたものの・・・当日の8月21日(日)はあいにくの空模様。おまけに台風だもんな～。それでもそんな中、12名もの参加者の方々と、とっても楽しい午後のひと時を過ごすことができました。皆さん本当にありがとうございました。

「ドラムサークルのサークルって、サークル活動なんかのサークルっていうことではなくて、輪を表してるんですよ」と、ファシリテーターの方からのお話も交えながら、少しずつその輪は広がっていきました。因みに、ここでいうファシリテーターとは、サークル全体をリードしてくれるガイド役のことをいいます。

はじめはジャンベを前にぎこちなさそうだったものが、だんだんと力強くリズムが刻まれていき一つになっていく。ただ、叩いてるだけなのに・・・なんか不思議。でも感動！

たまにずれたりするけれど、それはその～…愛嬌ということで・・・。

今回は、ファシリテーターの方の奏でるインディアンフルートの軽快なリズムに合わせて手に持って、ふったりこすったり叩いたりする楽器にも皆でトライしてみました。これがまた楽しくて、あつというまに時間は過ぎてしまいます。心ゆくまで思う存分ジャンベを叩いて、しめはやっぱり！さんのドヤ顔ですかね～札幌ドラムサークルの皆さん。それと参加された皆さん。本当に、ありがとうございました。



左の写真は、台風にも負けず集まっていたいただいた皆様の様子です。



右の写真は、ファシリテーターのリードで楽しむ様子です。

茶話会を開催します！皆で語り合おう

茶話会を行います。みなさんで気楽に語り合える場にしましょう。アットホームな雰囲気で行いますので、立ち寄ってくださいね。お菓子などの差し入れ大歓迎です！

日時 9月17日(土) 10:00～12:00

会場 札幌市社会福祉総合センター 4階 ボランティア会議室

札幌市中央区大通り西19丁目

※役員の皆様へ・・・茶話会終了後12時より役員会を開催いたします。万障繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い致します

▽すぷりんぐ今後の活動予定▽

- 9月17日（土）茶話会
- 10月24日（月）カラオケ
- 11月26日（土）講師活動勉強会（特に未経験者）
- 12月忘年会

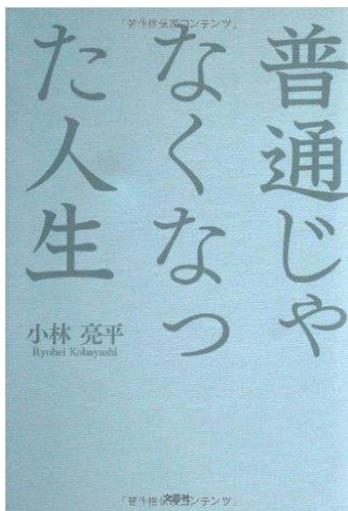


※今後予定は会場等の都合により、開催が異なる場合があります。ご了承ください。

すぷりんぐでは、楽しいイベントが盛りだくさん！色んな方と交流できて、楽しい時間になると思います。気軽に参加してくださいね。

▽新しい会員・小林亮平さんの図書ご紹介▽

普通じゃなくなった人生



内容紹介

あんな病氣さえしなければ、その望みだって叶ったかもしれないのに。あんな病氣さえしなければ、大学時代の思い出をもっと作れたかもしれないのに。あんな病氣さえしなければ、大切な人の気持ちが離れていかないように何かしらできたかもしれないのに。(本文より)大学時代、突然「小脳出血」となり、その後、障害とともに生きることに。思いがけないことが起きた人生を、29歳の著者が綴る。

★おすすめ情報



駒岡保養センターがリニューアルオープンしました！

食事が美味しくて、温かい温泉に入ることが出来て、なおかつ宿泊が出来る！そして料金が安い！車椅子でも対応出来る！そんな心身ともに安らげる保養施設があったらいいなあと思ったことはありませんか。

実は札幌市南区駒岡に、札幌市社会福祉協議会が運営する札幌市駒岡保養センターという施設があることをご存知でしょうか。この度、札幌市駒岡保養センターがリニューアルオープンして、さらに皆さんが利用しやすく、より充実した施設になりました。

この施設の大きな特色は、ケアマネージャー、介護福祉士、ヘルパー2級の介護専門資格者が常駐しているので、介助や介護相談等に対応してくれることです。高齢の方や障がい者の方にも快適に安心してご利用いただくことが出来るようになっていきます。

施設には介護ベットが備えられ、バリアフリーの浴室が完備されている宿泊部屋もあり、大浴場には手すりやシャワー浴場が完備されているので、車椅子の方や歩行困難な方でも安心して、ゆっくり温かいお風呂に入ることが出来ます。

また視覚障害者の方にも安心、安全にご利用出来るように、館内の廊下などの手すりには点字による案内プレートを設置されていたり、多目的トイレには音声案内が完備されているなど、きめ細やかな配慮がされております。

でも何より皆さんが一番気になるのは、食事と料金プランの内容だと思います。

食事はその時々旬の料理が楽しめる〔季節膳コース〕、焼き魚やお刺身、茶碗蒸しなどの日本食ならでは、さっぱりとした美味しい和食が味わえる〔和食コース〕、そしてボリューム満点のお肉料理が堪能出来る〔洋食コース〕が用意されており、お好みで選ぶことが出来ます。

また団体でご利用されたい場合は、〔宴会コース〕や〔老人クラブ・地区社協コース〕も用意されており、それぞれ洋食・和食と自由に選ぶことが出来ますし、高齢のお客様には、嗜好や量に合わせて、特別膳が用意されております。

これだけの料理プランが用意されているのであれば、料金も心配なところですが、例えば介護付きプランの宿泊であれば、お一人様6,500円で美味しい料理が食べられて、ゆったりとした介護用ベットで安心してお休みすることが出来るのです。

料理や温泉のほかにも、娯楽室には全自動麻雀卓、多目的室には手積麻雀卓が用意されており、屋外にはパットゴルフ場やパークゴルフ場、バスケットコートが完備されております。

夏には爽やかな青い空の下で、周りの雑音や自動車の往来などを気にすることなく、思いっきり、安心してパークゴルフを楽しむことが出来ます。ちなみ道具は貸し出し可能です。

と長々と書いてしまいましたが、実は車椅子では利用しづらい部分があった、料理が薄味だった、温泉のお湯がとても熱かった…などなど、実際に行ってみないと分からないところもあると思います。

実は20年以上前からある札幌市駒岡保養センターですが、意外と知られていません。今回新しくリニューアルしたことを機会に、一度皆さんも訪れてみませんか？

「実際に駒岡に行ってみたよ」「料理は美味しかったよ」「車椅子での浴室の利用はこうだったよ」などなど、実際に訪れた方は、ぜひ感想や要望などをお聞かせ下さい。

また札幌市駒岡保養センターの他にも、「ここの温泉施設は最高だったよ！」「ぜひこの施設を会報に掲載して欲しい」という、屋内・屋外問わずお薦めの楽しい施設や公園などがありましたら、ぜひ情報をお寄せ下さいね。あなたのホットな情報をお待ちしております。

すぶりんぐ会員Mさんのオススメコメント

今年5月に、すぶりんぐ会員のMさんが駒岡保養センターでクラス会を楽しまれたとのこと。

ケアマネジャーさんや介護福祉士さんがいるので、安心して利用することが出来ました。そして料金も格安で65歳以上はさらにお安く利用できるのも、皆さんにぜひお薦めしたい！とのことでした。

札幌市保養センター駒岡

【所在地】〒005-0861 札幌市南区真駒内600番地20

【連絡先】電話 011-583-8553 FAX 011-583-8574

【駐車場】普通車70台

【交通機関】

●地下鉄と中央バスをご利用する場合

地下鉄南北線「真駒内駅」から、中央バス地下鉄真駒内駅3番のりばで乗車

中央バス駒岡線（南92番）保養センター駒岡バス停 下車（所要時間約10分）

バス料金 210円（大人料金）

バスは1時間に1本と目安と考えていただければと思います。

●地下鉄南北線真駒内駅からタクシーをご利用する場合

地下鉄南北線真駒内駅から約10分

タクシー料金 約1,500円

※無料送迎バスもご利用出来ます（事前予約）

【対象】10名以上の団体様または2名様以上のご宿泊で季節膳コースをご利用の方

【送迎場所】札幌市内ご指定の場所1か所

【車両】マイクロバス2台、車いす対応ワゴン車1台

※詳細はホームページやフェイスブックにも掲載されております

ぜひ、こちらもご覧下さいね。

URL <http://www.komaoka.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/komaokasapporo/>

～駒岡保養センター秋まつりのご案内～

駒岡保養センターでは、地域の方々との交流を深めることを目的とした、様々なイベントを行っており、少し早いご案内となりますが、来る9月11日（日曜日）に秋まつりを開催いたします。

朝市やステージイベントビンゴ大会など、ご家族みんなで楽しめるイベントが盛りだくさん。

興味のある方、自然の中で休日を思いっきり楽しみたい方、お祭りが好きな方など、ぜひ駒岡保養センターに足を運んでみませんか。

【日時】平成28年9月11日（日曜日）9時～15時

【主な内容】朝市、縁日、ステージイベント、フリーマーケット、ビンゴ大会など

※フリーマーケットのお申込は8月16日（火）の9時より先着順で受け付けいたします



★車椅子バドミントン★



我妻進之

世間はオリンピック一色で毎日、日本人選手メダル獲得シーンに私自身も熱くなっておりま
す。そして、4年後には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。その為障がい者
スポーツも様々な競技が皆さんの目にふれる事も多くなってきていると思います。今回誌面に掲
載の機会を頂けまして、かなり独自に片寄ったパラスポーツ感(笑)と、車椅子バドミン
トンの紹介をさせて頂こうと思います。

私自身はパラスポーツに接してかなり浅いというか、現在模索中です。手帳が交付されてから
日が浅いという事もあるのですが、障がい者スポーツの間口の狭さというのをひしひしと感じて
います。病院や学校等で何かしらの接点がある人なら別なのかもしれませんが、ある日突然ポンとそれ
も40過ぎてから障がい者になった私には霞みを掴むようなものでした。

元来なんでも興味を持って、すぐ首を突っ込む私(笑)は、健常者の頃から色々やっていま
した。時代がネット社会になり始めた事もあり、90年代後半にはインターネットを駆使してそれ
らの集まりやらイベントを見つけ参加してきました。今回もパラスポーツを何かしようと思
い、いつも通りと考えていたのですが、中々入り口が見つからない。それどころか途中まで行くと諸
事情で頓挫するといった具合でした。

その中で突如沸いてきたのが車椅子バドミントンでした。大学時代時代部活でバドミントンを
していて、身障者になる直前には学校開放でバドミントンを復帰してもいました。

その交遊関係から車椅子バドミン
トンの話を聞いたのと同時に趣味のミニ四駆仲間の中に協会
役員兼国際審判員やラケットショップの方がいて薦められます。

しかし、北海道は車椅子バドミン
トンの競技者0(障がい者バドミ
ントンは2名)、協会はやる
気あるのかと疑問を持ちたくなる位、弱い反応といった具合です...

取りあえずどんな感じなのかと感触を掴もうと色々動き、車椅子でバドミントンをやって良い
体育館を見つけ、現在は家族相手であったり、知り合いの子供で部活でバドミントンをやってる
子を連れてきてもらったりしています。将来的には大阪、仙台で大会があるのでそれに参加出来
ればと思っています。東京パラリンピックで障がい者バドミントンは正式種目になりましたが、
それは年齢的に厳しいでしょう...(笑)

そこで、誌面をお借りして募集告知を毎週日曜日 18時から 20時まで星置地区センターの無料
開放を利用して車椅子バドミントンをやっております。興味のある方は私にメールを頂ければと
思います。転倒防止付きの普通の車椅子でやっています。専用の物は高額ですので、後々と思っ
ています。ラケットはお貸しできるのが数本ございます。

詳細はメールでお伝えしますので、是非是非メールをしてください。

★車イス初心者のヒヤヒヤ、時々ワクワク日記★

～その2 車イス超初心者の奮闘記～

すぷりんぐ会員 高橋 めぐみ

前回の会報では、車イスを導入するまでのいきさつを書いてみました。導入する決断までには随分時間もかかりましたが、導入するまでの経緯が予想以上に大変なものでして、それは他人事という簡単な言葉では済まされませんでした。

今回は、車イスを利用申請して判定を受けるまでのいきさつを振り返り、書いてみたいと思います。

昨年11月にかかりつけの整形外科の医師からの電動車イスの申請許可をいただいた後、オーダーメイドの電動車イスということだったので、すぐに車イスの型番から全体の色、車輪の色など、分厚いカタログを見ながら一通り選んだ後、後日あらためて、私は医師からの診断書と業者さんからの見積書を手に、目指すは第一関門の区役所の障がい福祉課へ。

障がい福祉課の窓口の職員さんに申請書を代筆していただき、診断書などの必要書類を提出してホッとしたのもつかの間、すぐに身体障害者更生相談所の判定日の予約を取ることになり、心の準備もないまま、2016年1月8日の午後に判定を受けることになってしまいました。

しかし、そこでミスが発覚。医師が書いた診断書の様式が違っていたため、また振り出しに戻って再申請。幸いにも業者さんが再申請を行なってくださったので、私は判定の日を待つのみでした。

が、ここでまた予定が変更。今度は業者さんの都合がつかず、判定予定日を急ぎよ変更することになってしまい、この時点で「判定がうまくいくかなあ。大丈夫かな…」と一抹の不安を抱き始めていました。

そして2016年が明け、たった1回の電動車イスの試乗を、当時住んでいたアパートの駐車場付近で行なっただけで、その後は車イスには乗っていないどころか、触れてもいないうちに、あれよあれよと判定の日を迎えて、ヘルパーさんと一緒に、目指すは身体障害者更生相談所に。

早速、更生相談所専属の理学療法士さんに、「電動車イスに乗って動かしてみて」と言われたので、とりあえず恐る恐る電動車イスのコントローラを動かしてみたところ、動かした途端、車イスは思うように真っ直ぐには進まず、右へ左へとまるで酔っぱらいおじさんのように、くねくねと千鳥足のように進んでいく始末。そして壁にぶつかっていく。まずい！まっすぐに車イスが動かない。どうしよう…まっすぐに行きたいのに、どうしたらいいの？とコントローラを動かしながら、内心は焦る気持ちいっぱいになり、私の頭の中は完全にパニック状態に陥っていました。

理学療法士さんは、私の操作の様子を見て開口一番「あなたの今の状態では、電動車イスの使用を許可することは出来ない。無理だ。」と言い放なされ、この時、手動の車イスすら動かしたことがないのに、ましては電動車イスを操作するなんて無謀に近いだらう。と自分でも思っていました。

あ～あ、やっぱり私には電動車イスは無理かあ…。まだ自力で歩けるし、今回は判定を諦めるか…。と半ば諦めかけた途端、理学療法士さんが続けてこう言ってくださったのです。

「今のあなたの身体の状態では自力歩行は危ないし、そろそろ年齢的にも自力歩行だけでは限

界だろう。今のうちに車イスを申請して利用した方が良いと思うよ。」と。

その後1時間以上待った後、医師の判定を受けて「あなたはまだ自力での車イス操作が危なかしく、このままだと事故にもつながるので、練習付きという条件で許可しましょう」と告げられ、自動車免許で言うのであれば《仮免許》ということで、条件付きの利用許可をいただきました。

電動車イスの申請を行なったのが雪も降り始めた11月半ばということもあり、雪が降り積もっている屋外での車イスの練習は、車イス超初心者の私には無謀な行為とみなされ、とりあえず屋内での練習を課せられました。

車イス《仮免許》マークの私は、後日ヘルパーさんと一緒に、更生相談所がある身体障害者福祉センターの館内を、相談所の電動車イスを拝借して操作練習を行ない始めました。

指導して下さった理学療法士さんに一番に教えられたことは、「水平、垂直にコントローラーを動かすこと。そうすることでその通りの方向に必ず動く。そしてまっすぐに前を向いて操作すること。手元は気になるけど、とにかくまっすぐ前を向くこと。」

一見当たり前のことのように思えるが、この一連の操作を、電動車イスを利用して行なうとなると、当時《仮免許》マークの私にとっては、とても至難の業のように思えたのは言うまでもありません。

でも、不思議なことにまっすぐ前を向いてコントローラを動かすと、向きたい方向に車イスを自由に動かすことが出来る！そのことに気が付いた途端、その後の館内への移動練習も、意外にもスムーズに(?)行なうことが出来るようになったのです。

よく幼い頃「まっすぐ前を向いて歩かないと危ないよ」と、周りの人達にそのように教えられたが、車イスでも同じことが言えることを、この時初めて深く実感しました。

とにかくまっすぐ前を向いて車イスを動かすと、目の前にあるものが見えてくる。もっと先には、たくさんの人達との出会いもあるだろう。今まで自力歩行では難しかったお店も、自由に行けるようになる。そのように思うと、何事もまっすぐ前を向いて歩いていくことの大切さを、電動車イスの導入するに当たってあらためて感じました。

でも、その時はまだ自分専用の電動車イスは存在していなかったもので、まだ心のどこかでのんきに他人事のように感じていたのです。ようやく自分だけの電動車イスが届くのは、春の足音が聞こえ始めた頃、また車イス奮闘記の第2幕の始まりを迎えたのです。(次号に続く)



…お悔み申し上げます…

すぷりんぐ相談役 我妻 武氏の奥様である千鶴様が8月13日、午前1時35分に永眠されました。ここに心から哀悼の意を表すとともに謹んでお知らせ申し上げます。

◆今年度からのすぷりんぐの新しい仲間をご紹介します！

- ・小林亮平さん・佐々木幸子さん・城前 直仁さん・高島淑郎さん
- ・谷口恒子さん・中 環さん・畠山晶さん・畠山忠さん・新田瑞穂さん
- ・野元かおるさん・松田淳平さん・森田千恵さん・我妻進之さん



【順不同】

《編集後記》

- ・気がつけばお盆も過ぎ、これからは少しずつ吹き抜ける風もどことなく涼しく、秋に向かう季節です。秋は「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」と楽しみを見つけたり、何かを勉強したり、活動に取り組むには1年のうちに一番良い季節。皆さんにとって、どんな秋のひとつときになるのでしょうか。すぷりんぐでも、秋に向けて色々な行事を予定しております。皆さんぜひ、すぷりんぐと共に、実り多き秋のひとつときを過ごしましょう。
- ・私事ですが、この度長年住んでいたアパートから引っ越しをしました。今度の引っ越し先は、4階ですがエレベーターが完備されていて、車イスでも自由に出入りできる場所です。色々と長所、短所はありますが、何はともあれエレベーターが完備されているという条件は、私達にとって、最も必要不可欠なことだなあとしみじみ思っています。(め)
- ・秋は実りの秋！食欲の秋！美味しい秋刀魚が楽しみです！読書の秋と知的なことを言えたらいいのですが、食欲には勝てませんっ。
すぷりんぐでは、楽しいイベントがいっぱいですね。今回も、皆さんからのご感想をいただきまして、大変に助かりました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました！皆さんの感想を読んでいると、楽しそうだなあと顔がにやけてしまいました。すぷりんぐでは、まだまだ楽しいイベントがあるそうなので、エンジョイしましょう！
・実は、お盆に太平洋フェリーに乗って仙台に牛たんを食べに行くつもりでした。バリアフリールームがあるとのことで、予約して張り切っていたのですが…。台風の影響で苫小牧港が一部破損。残念ながら今年は見送りました。またチャレンジして、バリアフリー状況をお伝えできる日が来るといいなあ(み)

障がい当事者講師の会 すぷりんぐ事務局

〒005-0034 札幌市南区南 34 条西 10 丁目 3-10 三井方

TEL 011-584-3256 FAX 011-351-5268

ホームページ <http://spring-hokkaido.jimdo.com/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/spring2013hokkaido>

